

JUNON 石田由美 編集長 にお聞きしました!

♡ 編集者の仕事から JUNON のことまで ♡



編集者のお仕事

Q1 編集者になろうと思ったきっかけは??

A、中学1年の頃に nonono の髪型特集を見ていて、1枚の写真に惹き付けられました。その時に、写真1枚で人に影響を与えることができる仕事ってすごいなと思って雑誌を作る人になりたいと思いました。

Q2 編集者になって嬉しかったことは??

A、読者からのアンケートを読んでいて、「○○の記事がよかった」と自分が書いた記事に対して喜んでもらえる事が嬉しいです。時間が不規則で休みが少ないなど大変な仕事だけど、次も頑張ろうって思えます。

Q3 編集者になって辛かったことは??

A、本が売れない時は辛いですが、笑売れないと反省しますし、取れたかった取材が取れなくて思い通りに物事が進まない時も辛いです。

Q4 編集長の1日は??

《めぐむむ取材日の場合》

A、10時〜めぐむむの取材↓取材に伴う経費の処理↓まとめタイトル決めやページ構成を編集する担当編集者が行くこと↓JUNON連載の占いページの占い師の方へ取材↓編集部員のプランの提出の催促や確認：20時から21時頃終了予定です。

Q5 初めて取材した人は??

A、作詞家の女性の方で、テーマは恋愛でした。細かい質問を20〜30問考えてインタビューしましたが、緊張はそんなにしませんでしたね。

Q6 初めて作った雑誌は??

A、私ははじめから JUNON なんです。当時は芸能人あまり興味なかったのですが、JUNON に配属が決まった時はやっていける

JUNON

Q7 今まで一番印象に残っている取材は??

A、SMAP の中居くんとかジャイアンツの上原さんの対談ですね。スポーツ選手の取材が難しかったです。野球好きの中居くんとなり取材させてもらえるんじゃないかと思ってジャニーズのOKが出たあとにジャイアンツにお願いしたらOKをもらえて取材することができました。あきらめずに頑張ってたよかったです。

Q10 「芸能人からプレゼントコーナー」の選び方は??

A、当選者を選ぶのはアルバイトの子たちで、ガキの内容がしっかりと書いている人を選んでもらうようにしています。プレゼントの物をどれにするかはページの担当者が考えていて、最終的に私と決めるとい感じです。毎号読者のライフスタイルに合わせたものを選んでいきます。

Q11 「編集長が行く〜」ページの芸能人の選び方は??

A、JUNON に毎回載っているようなレギュラーの人ではなく、中々 JUNON に出るのが難しい人の所から行っています。



Q13 JUNON ボイイを目指している男の子にアドバイス!

A、13〜22歳まで応募できるので記念受験でもいいから受けて欲しいですね。手帳な写真の応募もありますから、是非送って欲しいです!

Q14 JUNON 読者への一言☆

A、中高生が5000円を出して雑誌を買ってくれることは大変なことだと思いますが、金額に負けないくらいの中身を作っていると思うので、少し高いかも知れませんが、これから JUNON を応援してください!!



Q8 1冊の雑誌が出来上がった時の気持ちは??

A、1ヶ月間、編集部員が時間に追われて作ったものなのに、売れますようにという気持ちが強いです。

Q9 編集者になりたいと想っている人へアドバイス

A、やりたいという気持ちが一番大切です。一生懸命頑張ってくれる人を作ってもらいたいですね。頑張りたいという思いや熱意をアピールするんですよ。